

## 愛犬チャッピー18年の生涯

勤務退職者支部 諏訪 綱雄

幼犬の頃より18年も一緒に過ごしていたチャッピーが死んだ。私の手の中で一瞬の痙攣を起しその生涯を閉じた。悲しいことである。

それは、昨年(平成25年)6月8日に病魔に勝てず、80歳の高齢で永遠の旅に逝ったが、そのあとを追うように長年可愛がっていた老犬のチャッピーも、その2か月後の9月3日午後5時30分私の見ている目の前で、私の手の中で、老衰により生後18年の生涯を閉じた。犬としては長生きであったと思う。

犬の年齢を人間の年齢に換算すると、この時チャッピーは18歳だったから、88歳に当たるといふ。犬と人間の年齢の換算は、いろいろと云われており、5倍案、6倍案、7倍案といろいろな説があるが、現在の通説で一般的に用いられているのは、パソコンのインターネット上に獣医師広報板「犬・猫と人間の年齢換算表」がある。これによると我が家のチャッピーは18歳だったから人間の88歳に相当するという。よくここまで生きていて、私たちと付き合ってくれてものだ、感心すると共に一緒に家族の一員として共に過ごして癒しを与えてくれたことに感謝したいものである。

チャッピーが死んでから1年になる。そこでチャッピーと過ごした日々を思い出しながら、チャッピーと過ごした思い出を書いてみることにした。

### 1 チャッピー我が家に来た頃

チャッピーが我が家に来たのは、平成7年の春のことで、小さなダンボールの箱に寝かされ、群馬県中之条町から長い距離を車の中で揺られてきたので、乗ったこともない車の揺れに、車酔したのか当時私の勤めていた茨城町の研究所に着い



我が家に来た頃のチャッピー  
(平成7年4月)

た時は、その小さな体はフラフラの状態だった。

その子犬は、それはもう小さくて手の中にすっぽり入るくらいで、小さくて茶色のかわいい子犬のぬいぐるみのように、体重も500グラム位しかなかったので、この仔を初めて見た人は、誰もが子犬のぬいぐるみと間違えたほどだった。

チャッピーは、群馬県中之条町の妙義・榛名山のふもとで平成7年2月に父親はシェルティー母は小柴犬のF1所謂雑種犬として生まれた。そのためかチャッピーは両親の特徴を持っていて、足先は四本とも白毛、肩にも白毛が带状に巻いていたし、しかもその毛は長毛であったため、初めてチャッピーに会った人たちは、ライオンの仔みたいなどと評判だった。一緒に生まれたのは6匹だったそうだが、なぜかこの仔だけは小さかったせいか、貰い手が見つからず最後まで残されていたという。

家に来るまでは、チビと呼ばれていたようで、水戸の家に来てからこの子の名前をチビではかわいそうだから、この子にふさわしい違う名前を付

けようということになった。家族みんなで名前の案を出すことになり、以前わが家で飼っていたアメリカンコッカスパニールは耳が長かったので「ミミー」と名付けられておったので、「ミミー」の二代目だからミミーでもよいのではとか、いろいろな名前の案が出され、なかなか決まらなかったが、結局毛色の茶色から「チャチャ」ではということになったが、「チャチャ」で可愛くないなどの意見もあって「チャッピー」ではとのことで、チャッピーがこの子の名前になった。

チャッピーは段々に家じゅう人気者になって行き、特に当時3歳になった孫の夏織ちゃんの遊び相手として夏織ちゃんが水戸の家に来るとチャッピーを相手にいろいろと話しかけて一日中遊んでいた。チャッピーも夏織ちゃんが大好きのように、いつも一緒にその相手をしていた。



夏織と遊ぶ

家内がデパートに買い物に行くときは、何時もチャッピーを連れて行ったが、その茶色のぬいぐるみみたいな小さなチャッピーを見てデパートの店員たちが皆寄って来て、可愛い可愛い「私に抱かせて、私にも」とチャッピーは大人気だったそうで、チャッピーを連れて行くとゆっくりと品物も見られなかったと、何時も話していたことが思い出される。

チャッピーはどこに行っても人気者で幸せ者だった。

あまりに小さかったので、夜寝るときは私の蒲団の中でそっと抱いて寝かし、おしっこが出たくなるとモゾモゾと動きながら小さな声でクンクン泣いて教えるので、その時は夜中でも雨戸を少し開け、お外に出してやり、おしっこをさせてから土のついた足を雑巾で拭いてまた蒲団の中で寝かしてやるのが、毎日の習慣になって寝不足になること、しばしばだったことが思いだされる。

## 2 外の住まいに移す

6月ごろになると、体重も増え4キロ位になり、外気温も高くなったので、もうそろそろ屋外へ移すことにした。ケーヨーホームで組み立て式の屋根の赤い白の中型犬用のドックハウスを購入し、チャッピーのハウスとした。初めての夜外での一人寝は、寂しいのか二三日は、不安そうに泣いていたが、そのうち慣れたのか自分のハウスの中で熟睡するようになった。大丈夫かと随分と心配したがその割でもなかった。慣れてくれてよかった。そのうちこのハウスが気に入ったのか、「チャッピーハウス」というとサッサッとハウスの中に入るようになった。このハウスは何回かペンキで化粧直しし、チャッピーが亡くなる寸前までこのハウスを18年間も愛用して居た。

## 3 チャッピーの健康

10年ぐらい前に飼っていたアメリカンコッカスパニールを自分が獣医師であり乍ら、犬フィラリア症で6歳ぐらいの時に、死なしたことを随分と悔やんでいたこともあって、この子だけは、フィラリアの被害を受けないようにと、十分なフィラリア対策をすることとした。フィラリアの治療・予防薬も数年経過した今日では、あのころと比較にならないほど、予防治療法が進歩しており、予防も随分と手軽にできるようになっていたことも

幸いだった。

チャッピーが家に来た頃は、4月のため早速フィラリアの予防対策を始める必要があった。先ずフィラリアの予防注射剤の投与の前に血液検査で血中にフィラリアの子虫がないことを確かめる必要があった。血中にフィラリア子虫の存在が認めら



以前飼っていたアメリカン  
コッカスパニールの「ミミ」

れたときは、数回に分けて少量ずつの注射が必要だった。最初の投薬は非常に危険で慎重にする必要があった。注射の後は、3月ごろから10月頃の蚊の居なくなるまで、毎月一定の日を決めてフィラリア予防の錠剤の投与をし、蚊の吸血時におけるフィラリア子虫も感染を防がなければならない。そのほかに特に注意したのは、子犬にとっては母犬から母乳を介して移行したいろいろな病気に対する抗体をもっているが、そのほか伝染性肝炎やジステンパーその他、諸々のウイルス感染を防除するためのワクチン接種が必要と思い、そのため生後2か月ぐらいから混合ワクチンの接種も実施

することにした。当然の事乍ら水戸市の行う狂犬病予防注射は、毎年欠かしたことはなく、毎年18年間も狂犬病の予防注射を継続して行ってきた。

幸いなことに現在の日本では、狂犬病の発生は認められないが、先進国のアメリカはじめ諸外国では、未だに狂犬病が発生して犬だけでなく人間にも感染が起こっている。外国を旅行するときは、このことを念頭に入れて放浪している犬には無暗に近寄らないことである。最近のことだが、現に外国旅行した人が日本に帰国してから狂犬病で死亡したことが近年も2件ほどあったと厚労省から報じられ注意する必要がある。狂犬病は恐ろしい人獣共通感染症であることを獣医師として一般人に強く伝えて行かなければならない。

#### チャッピーに接種したワクチンとフィラリア予防薬品類

◎狂犬病ワクチン（毎年定期18年間実施）

◎混合ワクチン接種

ジステンパー 伝染性肝炎 伝染性喉頭気管炎

パラインフルエンザ パルボウイルス感染症

レストスピラ 平成8年から14年まで年1回実施

◎フィラリア症予防薬 ミルベマイシン

3月から11月まで毎月一回年間 カルドメック

チュアブルP68 パナメクチンS68

（次号に続く）

# 先進国の奢り<sup>おご</sup>

勤務退職者支部 菅原茂美

私は多くの外国を見たわけではないが、先進国と発展途上国では、社会インフラの整備に、大きな開きを感じる。先進国は、これでもか…と言わんばかりに、きらびやかに社会資本が充実し過ぎている。巨大なビルの林立、高速化した交通機関。人類は、何を急いでそこまでやる必要があるのかと、首をかしげたくなる。そこには先進国の奢りを感じ、地球全体のアンバランスに戸惑いを感じる。

人類史を顧みると、直立二足歩行を以って人類の誕生とするなら、700万年前アフリカ中部に、サヘラントロプス・チャデンシス（猿人）として初登場し、我らホモ・サピエンスを生んだホモ・エレクトスが、5万年前滅亡するまで、9段階（発見された化石の種類）のヴァージョンアップを重ねた。それゆえ「種の寿命」を考える時、695万年を9で割ると、1代平均77万年となる。エレクトスは175万年、兄貴分のネアンデルタール人は、わずか23万年であった。我らホモ・サピエンスは誕生から既に20万年経過しているので、平均的に見れば残りの種の寿命は57万年となる。このまま環境破壊を続ければ、現生人類の残り寿命は1万年がいいところ…という説もあるが、仮に57万年もあるのなら、何を急いで文明進化をこうも焦って、加速度的に早める必要があるのか？文明はもっと緩やかに進化すべきである。

ラテンアメリカの緩やかな生活を見ると、先進国の「成果主義」という妖怪に追われ、自殺や過労死多発など超ナンセンス。折角脳味噌を膨らましたのなら、早々にその事に気づき、文明進化のスピードをもう少し緩めるべきだ。空には人工衛星が無数に飛び交い、地上には天空に向かって無限に伸びるビル。地下をほじくり返し、地球表面は

ズタズタだ。どこまで母なる大地を荒らせば気が済むのか。現在の地球は「未来の子孫からの預かりもの」…と言われるが、現代の人々が、未来の子孫が利用すべき資源を悉く使い果たしてもよい理屈はなり立たない。

現在の世界人口70億人が暮らすためには地球が1.4個必要と言われる。こんな飽和状態になってもなお、毎年、8千5百万人ずつ世界人口は増え続けている。当然ひしめき合えば縄張り争いが発生。世界のいたる所で小競り合いが絶えない。先進国は独善的な繁栄追及にブレーキをかけ、バランスのとれた世界平和に邁進すべきである。

さて本題に入るが地球環境の破壊は、先進国がその大方を推し進めたと言える。産業革命以来、地球温暖化ガスCO<sub>2</sub>は世界平均396ppmと観測史上最高値を示し、気温はこの100年で0.74℃も上がった。その弊害は、海面上昇だけではなく、マラリアなど熱帯の恐怖の伝染病が、多くの人口を抱える温帯地方でも大流行の可能性が大。これは致命傷だ。今からでも遅くはない。愛すべき子孫のためにも、21世紀の叡智を結集し、正すべきは正し、全ての生物が安心して住める心地よい惑星を取り戻すべきだ。

\*

先進国の奢りを序列は別として、思いつくまま例をあげて検証する。典型的な愚は1969年から開発された超音速旅客機「コンコルド」。マッハ2で飛び、騒音・排気ガス・超高価・高燃費で悪名高く、長距離滑走路が必要なのに、航続距離は短い。空中給油がなければ日米間など、太平洋横断ができない。音速を超えるため、空気抵抗や摩擦熱との戦いであったようだ。乗客はわずか100名。しかも事故（滑走路の落下物を巻き上げ、機体損傷

で離陸直後乗客乗員全員死亡)まで起こし、世界中から発注取り消し。わずか20機のみで76年製造中止。2003年で全機が退役。石油ショックや環境保護団体の猛烈な反対もあり、共同開発した英仏は、断腸の思いで製造中止を決断した。暴走する先進国の中でも、さすが英仏には、未来を見つめる叡智があったようだ。奢れる者にも、反省が伴えば、次の進歩がある。

\*

次に私が日頃心を痛めているのは、新薬開発競争。勿論人命を救うためだが、他社に先んじて利を求める影が見え隠れ。耐性菌など多い今日、新薬は必要だ。最近身近の人がMRSA感染で命を亡くした。耐性菌と新薬開発とはイタチごっこ。新薬開発のためアフリカ奥地の森林などをかき回し、抗菌剤を産生する真菌などを見つけ出し、文明国に持ち帰り実験動物などから、とんでもない

熱帯の感染症が文明国に蔓延。強烈な死亡率を示す。そのよい例はエイズである。元々このウイルスはアフリカミドリザルが起源と考えられていたが、最近ではアフリカ西部に生息するツェゴチンパンジーに常在するウイルスであることが分かり、チンパンジー自身は発病しない。しかし、このチンパンジーを実験動物などに使用、ヒトに接触すると人間に強烈なエイズ感染症を起こす。ジャングルへの深入りが災いのもと。眠れる獅子を無理やり揺り起こした感じ。文明国の奢りだ。しかしこの件に関しては先進国の謙虚な反省はなく、性懲りもなく最近再び陰悪な事態が発生した。今年アフリカ西部のリベリアで、世界最悪の国際伝染病「エボラ出血熱」が集団発生。死亡率50%以上である。エボラ出血熱は、スーダンなどで1976年に発見された極めて死亡率の高い世界最悪の伝染病である。忘れた頃に悪魔は再び牙をむく。

## こぼればなし

### 「エボラ」をめぐる流言

日本でも安政から明治にかけ、コレラ騒動(約十万人死亡)が起きた時、「西洋人がコレラを持ち込んだ」「医師は生き胆(ぎも)を抜く」など流言が流行り、民間療法や呪術が頼られ、更にコレラ一揆などが起きたという。そして、隔離を強制する警察や行政が民衆により襲撃されたという。

今、アフリカ西部諸国で死亡率の非常に高い、「エボラ出血熱」が猛威を奮っている。ワクチンも治療法もなく、清潔な環境での対症療法しかないが、感染地域では、医療を妨げる「流言」が飛び交い、一層対応を困難に陥れているという。最近の新聞報道によると、主な流言は…

◎欧米人がエボラを持ち込んだ ◎入院すると臓器が抜き取られる ◎病院でこそエボラに感染させられる ◎隔離させられた患者はそのまま餓死

◎政府は支援金を搾取するために捏造している。などである。

更に二セの治療効果をうたう流言もある。

◎タマネギが利く ◎ライムがいい ◎塩水が利く…などが流行り、塩水を飲み過ぎて二人も死亡したという。更にネット販売で偽薬大流行とか。

人は、見慣れぬものには不信感が根強い。肌の色が違う外国の医師団が、防護服にマスク姿で、臭い消毒液を浴びさせられ、熱があるぐらいのことで、なにもかも制限される。ああ、いつそのこと死んだ方がましだ…。これでは、エボラの鎮圧は、ただ事ではない。WHOは本腰でかからないと、人類の生き残りに禍根を残すことになる。

(S・S)

リベリアはアメリカの開放奴隷が移住して、1847年に独立した国家である。便宜置籍船制度により、世界の商船保有国。そのため、外国人の出入が激しく、世界への伝染が危惧される。さらにアフリカには、エボラ出血熱同様、「ラッサ熱」や「西ナイル熱」による強烈な伝染病がある。グローバルな経済交流も良いが、このような、巨大なリスクがある事をしっかり自覚する必要がある。「利」をむさぼる行為には、人類滅亡につながりかねない凶悪な伝染病が、世界に蔓延する可能性は大である。

\*

先進国の奢りが世界を恐怖のどん底に陥れる例は多々あるが、「リーマンショック」は正に世界最大級の金融危機を招いた。2008年9月15日、アメリカの投資銀行リーマン・ブラザーズが、史上最大の負債総額64兆円を出し破綻した。その後世界は連鎖的に金融危機を招き、大不況に見舞われた。日本でも株価の大暴落、急速な円高ドル安により、輸出産業が大きなダメージを受け、大不況に陥った。一国の銀行が破綻しただけで、全世界が大不況に陥る。何のための文明の進化か？何がグローバル化だ？社会の安定や正義は、欲の塊みみたいな巨大金融機関によって、いとも簡単に捻りつぶされてよいものか？国連など世界的組織が、なぜ未然にコントロールできないのか？

\*

「乱獲」も困ったもんだ。先進技術の乱用により、一網打尽。電波探知機を備えた近代漁業は、根こそぎ獲りまくる。そのため、絶滅危惧種は増えるばかり。漁業に限らず、山菜、高山植物、愛玩用小動物、鉱物資源など金目の資源は、底が見えているのに、乱獲を続ける。こんなに小さな惑星なのに、資源が無限の訳はなからう。小学生でも分かる道理だ。にもかかわらず、しかも文明の発達した先進国の強欲どもが、向こう見ずの暴挙に出る。

先進国日本が絡み、途上国で象の密猟が横行。この1年で20000頭密猟とか。アフリカ象の自然繁殖率は8%と言われるが、密猟率は12%。自然公園などで保護しても年々その数は減少傾向。中国が装飾用として高額買取（kg当たり22万円）。或いはイスラム・テロ組織の軍資金とか言われるが、日本か絡んでいるという証拠もある。密猟者は保護官などに発見され、追跡された時、象牙を背負って逃げるのは重い。そこでドリルを使い、親指の太さ・長さにくりぬいて、身軽で逃走するという。そのサイズは、丁度、日本の印鑑のサイズ。今日印鑑を使用しているのは世界で多分日本だけ。密猟者は、子連れの母象を狙うという。まず子象を殺せば、群れは逃げても母象は立ち去らない。群れの反撃がないから、易々と母象を殺せて、象牙が手に入るという仕組み。日本がこんな国際犯罪を陰で糸引くとはなんとも情けない。いつまで、あんな印鑑を重視するのか。

日本では昔から武將は、自筆署名として、「花押（かおう）」が用いられてきた。身分の低いものは、「略押（りやくおう）」として簡単な花文字で花押に代えた。日本にも「署名」即ち「サイン」の時代があったのだから、あんな面倒で高価な「実印」などという制度を廃止し、サインでOKという訳にはいかないのか。影の犯罪まで生むのなら、早急に改善の要ありと思う。

日本列島の先住民族「アイヌ」は、必要最小限の恵みをカムイに感謝しながら、自然から食糧などを分けて頂くという精神に貫かれているという。この精神は研究者により世界に報告され、広く尊敬の念で見られているという。文明が進み自然から資源を略奪し販売して利益を得る近世の社会。子孫の生活の糧を危うくするまで、根こそぎ乱獲。大脳を膨らましての強欲さ。先進国ほどその傾向が強い。今の今、俺だけが得をすればそれでよい…とする貪欲で狭量な生き物。それが人類だ。

\*

次は「過労死」の問題。「KAROU SHI」として世界に共通する、こんな不名誉な日本語。しかし日本人の「勤勉さ」が、廃墟と化した戦後日本を復活させたのは事実。それは良いが、度を越せば惨めな結末につながる。人権が尊重されてこそ世界の一等国。

過労死は、先進経済大国などに多く、周囲から暗黙の強制があり、長時間労働で、精神的・肉体的負担が大きく極度の疲労を招く。脳溢血・くも膜下出血・心筋麻痺などで突然死する。死ななくとも、うつ病や燃え尽き症候群で、廃人同様に陥る例もある。企業などがこれほどに労働者を痛めつけ、労働基準法に違反しても罰金はわずか30万円。あまりにも刑が軽すぎる。勤勉日本の裏には、多数の過労死を生むこんな素地があった。尤も最近発展途上の中国でも、毎年過労死者60万人と言われる。人口比から見ても、日本よりはるかに高い。とにかく経済が急成長する裏には、必ず大きなリスクが伴う。

遅まきながら、2014年6月20日、日本でも「過労死等防止対策推進法」が成立した。準備を始めてから四半世紀を要した。過労死は個人の問題ではなく、国に、対策の責任があると明記し、社会全体の問題とされた点が特徴だという。基本理念が示されただけで、具体的に規制が強化され実働しなければ、画餅に帰する。

労災と認定された人数は13年度全国で742人という。これは氷山の一角。30代男性のおよそ5人に1人(18.2%)の144万人は、週60時間以上働いている。これらの人々は、週休2日とすれば、1日平均12時間働いていることになる。こんなに多くの人々が過労死予備軍である。労基法で1日8時間、週40時間以上働かせてはいけない…となっているが、残業手当支払いを条件に協定すれば、月45時間までは、労働を許されている。然し、白書によれば、週50時間以上働く人口は、英国12.1%、フランス9%に対し、日本は31.7%

でダントツである。

文明の進化は、過酷な犠牲もいとわず、先を急ぐべきものではない。私は熱帯の人々の暮らしを見て、しみじみそう思う。以前にも書いたが、「晴耕雨眠」くらいのペースで、丁度良い。スローライフにこそ、安定した人類の未来がある。

政府は最近、労働者の報酬は労働時間ではなく、その「成果」で支払うシステムの導入を云々しているが、逆に却って過労死を招く恐れもある。成果主義を取り入れれば、人間は誰でもライバルには負けたくないし、かえって家庭を犠牲にし、過酷な労働に自分を追い込む可能性が大きくなる。

最近は、「ブラック企業」といい、若者を酷使した上に使い捨てにする悪徳企業が多く見られるという。更に「ブラックバイト」と言い、若者のアルバイトに過酷な労働を課し、責任を負わせ、辞めるにやめられない状況に追い込みながら、どうしても辞めるといえば、損害賠償を請求する事例もあるという。

我が国のこんな現況を見れば、何が先進国だ？  
何が文明国だ？ 人権が真から尊重されない先進国などナンセンスの一語に尽きる。

\*

次に私がカチンと来ているのは賞味期限切れの「食品廃棄」。日本の食糧事情は今その自給率は39%。こんな先進独立国なんてどこにある？しかも優良な農地は耕作放棄。多くの補助金をつぎ込んで耕地整理した農地を休ませれば転作保障。地目変更で、何か有効利用しようとするれば、農地法でガンジガラメ。

日本への食糧輸出国で、異常気象や戦争に巻き込まれるなど、輸送困難、あるいは貿易協定に齟齬を生じ、いわば仲たがいで、輸出がストップされる…など諸々の原因で輸入ができなくなれば、日本人は6割の人は死ぬほかない。自給率80%なら、何とか分け合って国民は生きて行けよう。腹八分に医者要らず…とも言う。しかし4人分の食

糧で10人がどうやって生きていける？

【人類進化の過程で、巨大な火山噴火のため塵灰が成層圏まで舞い上がり、何十年も太陽光が十分に地上に届かず、人類は滅亡に近い飢餓状態を何遍も繰り返してきた。それは現在地質調査で、はっきり証明されている。今から7万5千年前のインドネシアのトバ山噴火は、世界史上最大の巨大噴火である。噴火のマグニチュード8.8で、火山灰噴出量は $10 \times 10^{15}$ kgと言われる。これに近い噴火は、世界のいつどこで起きてても不思議ではない。あんな巨大津波が来るはずがないと見くびった結果が福島原発事故だ。火山噴火による異常気象で世界的食糧危機はいつ起こっても不思議ではない。自給率向上が喫緊の課題だ。】

さてそのようにして世界からかき集めた食糧を、有り難く完食するならまだよろしい。ところが、何を血迷うたか、賞味期限とやらを設け、期限すれすれのものまで、すぐ捨てる。腐敗変質しやすいものはしょうがないとしても、食中毒など起こし得ない食品まで、バタバタ捨てる。これが先進国の奢りと言わず何と言えようか。

日本が金持ちだから世界の穀物を買って漁るお陰

で、貧困な国の人々は、その穀物を安く買えない。先進国の横暴に、途上国は辛酸をなめさせられている。こんな不条理が許されてよいのか。当然途上国の恨みを買う。世界に迷惑をかけないためにも、可能な限り食糧は自給自足すべきである。

\*

先進国で、「大都市に人口集中」し過ぎるのはいかがなものか？東京圏に3000万人も居住する。防災は大丈夫か？

東京人は文化都市「大東京」を自慢したいだろう。だが、直下型大地震などあったら、あのゴミゴミした大都市は、住民・通勤者の生命・財産をしっかりと守れるのか。巨大ビルは、全てマグニチュード9に耐えられるのか？関東大震災はマグニチュード7.9の直下型。家屋は43%が焼失し、10万人が死んだ。今の時代では復興の神様後藤新平は簡単には現れない。日頃からの緻密な対応が必要。地盤に亀裂が入り津波の大量の水が地下街に侵入したら、無数の犠牲者続出は必定。まず停電で水を汲み出すポンプが動かなくなるだろう。たとえポンプが動いたとしても、水を捨てる河川は当然満水で捨て場がないはず。地下に巨大な貯水槽を

### 動物名のルーツを探る (シリーズ28 ドジョウ)

#### ドジョウ 泥鰌 鰌 鯰



ドジョウの名の由来は、数多くあって漢名の泥鰌（でいしゅう）がドジョウになった、という説もあるが、この説は否定的であるようだ。

古書の『本草記聞』には、泥の中に生まれる魚であることから泥生（でいしょう）が土生（ドジョウ）になった、という説がある。また、ドジョウの古名は泥津魚（どろつうお）と呼ばれているが、これがドジョウになったとも言われている。ドジョウの呼び名は地

方によってそれぞれ異なる呼び名がある。関東地方では、泥の中を跳ね回るところからオドリコ、またその形が柳の葉に似ていることからヤナギハ等とも言われている。泥鰌鍋を「やながわ鍋」というのもここからきている。ドジョウ料理屋では、よく「どぜう」と書かれた看板が出ているが、これは泥鰌料理屋の越後屋初代渡辺助七が「どじょう」の四文字は縁起が悪いから三文字の「どぜう」にしたのが始まりといわれている。ちなみに韓国語でドジョウは、鰍魚と書きチュオという。

英名 ローチ

仏名 ロシュ

独名 シュメルレ

(TS)



造っているようだが、津波はちょいとした雨漏りとは訳が違う。東日本大震災の津波の猛威を経験したばかりだ。最大遡上高はなんと40.1mであった。東京の平均的標高を私は知らないが、5mや10mの津波を考えていたら甘すぎる。2020年のオリンピック投資はやむを得ないが、それ以上の意気込みで防災投資を図るべきだ。

\*

地震・津波よりもっと怖いのは「パンデミック (世界流行病)」の襲撃。死亡率の高いエボラ出血熱などのエマージング感染症 (新興感染症) が侵入してきたら、一溜まりもない。累々の死屍。考えただけで身の毛がよだつ。近年貿易はグローバル化し、世界交流は甚だしい。アフリカの野生動物の病原体はその動物で発症しなくとも、宿主を換え、人類に感染したら猛威を奮う。渡り鳥に餌をやってはいけないのは、一か所に集中すれば、もし感染症が発生すると全滅するからだ。餌がなければ鳥は散る。その方がかえって安全だ。人も理屈は同じ。

人類が滅亡するとしたら原因は恐らく新興 (又は再興) 感染症。人類がいかに優れた薬品を開発しても、病原体はその上に行く。人類の頭脳より、微生物の生命力の方が上だ。人類はのほせあがってはいけない。

都市機能は分散すべきだ。一極集中しなくとも、現代はテレビ電話会議ができる。政治も経済も分散すれば地方の過疎化も防げる。過密ダイヤも防げる。モグラもどき (地下街住人) も死なずに済む。

\*

先進国の最大の罪は、史上、何度も繰り返されてきた「侵略」行為だ。

大型類人猿で、最も早く我々の祖先から枝分かれしたオランウータンと、その次に枝分かれしたゴリラは、かなり温厚な動物である。勿論殺し合いなどしない。ところが最後に残ったDNAがわずか1%ほどしか違わないチンパンジーと人類は、

相当残酷な動物で、縄張りを侵略し合い、殺し合いまで行く、かなり凶暴な動物である。全ての生物の「生きざまの基本」は、強弱の差はあれ「縄張り争い」の根性に貫かれている。人類の歴史は列強が先進武器を駆使して未開地等を侵略し、縄張りを拡張した戦いの歴史とも言える。

野生動物は生存のため、「テリトリー」の維持・拡大に命をかける。それが生き物の根本的な姿。生命の基本原理は、己の命を維持し、己のコピーを増やし、「種」を継続すること。どんな生物を見ても、全ては、この原理に貫かれている。

しかし野生動物を見ると、縄張り争いなどの勝者は、敗者が恭順の意を示せば、決して敗者を殺害まではしない。ところが、脳味噌を膨らました人類は、敗者を惨殺するだけでは治まらず、非戦闘員の女子供まで根こそぎ殺害した例がしばしば見られた。人類とは真に残虐な動物である。

哺乳動物の中でも、最もこの世に新しく出現した霊長類。その中でも最後に生まれたわずか700万年の歴史しか持たない人類。一番末席に座るべき人類。それがこの地球上を席卷し、侵略し合い、環境を汚染し、大きな顔で威張り散らしている。

\*

宗教は、自然崇拜の原始的なものから、かなり過激な特定の民族宗教。そして世界的な仏教・キリスト教・イスラム教など多種多様である。いずれも表向きは、人心を迷いから救い、平和と安定を目指すものだが、どういう訳か、他者を受け入れない。中には強烈な原理主義に貫かれ、己の教義を絶対視し他者を鋭く排斥する。狭量この上もない。結果は宗教戦争へと発展する。

先進国が発展途上国或いは未開の地を支配し、先住民の信ずる「神」を邪悪なものとし、徹底的に排斥し、強制的に己の宗教に入信させた歴史は世界にゴマンとある。

私はマヤ文明の遺跡を訪ね、しみじみ感じた事は、博愛主義を掲げるキリスト教徒が、なぜにマ

ヤの遺跡をあれほどに破壊し、先住民を殺害し財宝を奪い取ったか。教義の理念は、一体どこへ行ったのか？

マヤ文明はコロンブス以前に衰退したが、インカ文明は、西欧列強により、徹底的に破壊された。マヤの遺跡には、歴代の大王の石像が並んでいるが、ところどころ歯が抜けたように、空っぽの席がある。そこには第〇〇代大王の石像は、大英博物館に…などと書かれている。石造が風化崩壊するのを大事に保存するため…との弁解もあろうが、歴史的建造物は、そこにあってこそその歴史遺産である。真から保護したいのなら、その上に屋根でもかけ、厳かに保存したらよい。インカの遺跡も同じこと。エジプトのピラミッドも盗掘が酷かったようだが、たまたま難を逃れた第18代王朝のツタンカーメン王のミイラや副葬品は、奇跡的に盗掘を免れた。

\*

侵略の極みは中国に見られる。中国側にとって清国は1842年、英国とのアヘン戦争に敗れ、南京条約で「香港」を割譲する屈辱を喫した。更に1887年、マカオをポルトガルに割譲。そして95年(明治28年)、日清戦争で、台湾を日本に奪われ、更に小国日本に、属国であった朝鮮の独立を認めさせられ、賠償を支払わされ、あげくのはてに1910年、朝鮮は日本に併合された。さらに1932年、日本は清朝廢帝の愛新覺羅溥儀を執政として、傀儡(かいらい)政権「満州国」を成立させ、関東軍が駐屯した。更に、中国侵略政策が拡大し、1937年～45年の日中戦争は、全面戦争となり、41年(昭和16年)の太平洋戦争開戦は、その一部である。このように先進国は武力を持って、発展途上国を意のままに虐げてきた事は事実である。

さて、侵略の歴史を、南北米大陸に目を向ければ、これまた筆舌に尽くし難い残酷なものであった。両大陸には先住民であるインディアン・インディオが9000万人いたが、なんとコロンブス以

降の西欧列強は、その9割を殺害し土地や財産を奪った。

更に新大陸に白人が定着するため、アフリカから奴隷として黒人を拉致し、市場で売買し、強制労働をさせた。そして奴隷解放を実現したリンカーンは1865年、奴隷解放に反対する者により暗殺された。

一方、日本国内でも大和朝廷とやらが、東北の蝦夷を虐殺した醜い歴史が存在する。

そのあと平安後期、前九年の役・後三年の役などで、東北を平定した侵略戦争。

更に歴史を遡れば、平穩に暮らしていた先住民である縄文人(ほぼ10万人))を、大陸の戦争難民である弥生人が大挙(100万人)押し寄せてきて、日本列島を占拠。現在の日本人の多くが、大陸からの流れ者(DNA検査で、バイカル湖周辺にその源流を持つ)の血を引く。そして、帰化人は先住民アイヌ民族を徹底的に虐待した。以降、戦国時代には隣国同士で、どれだけ多くの戦争が行われたか数えきれない。

\*

先進国の近代化の後ろには、途上国の多くの犠牲が伴う。例えば発展途上国の森林が、先進国の建築資材やパルプとして、無制限に伐採されている。過度の伐採は異常気象を引き起こす。国際規制など何のその。又、ヤシ油をとるため、熱帯の自然林が姿を消す。更には、アルコール燃料を生産するため、ブラジルの原生林が消滅していく。

それにしても私は発展途上国に滞在して真に不合理に感じたのは、先進国が途上国同士にケンカをさせ、古くなった武器を無理やり買わせている現実である。国営発電所が予算不足でしょっちゅう停電しているというのに、空には戦闘機がブンブン飛んでいる。真実かどうか知らないが、先進国は途上国に対し、色々うわさを流し、隣国同士を仲たがいに導き、古くなった兵器を双方に無理に買わせるのだという。武器産業の繁栄で食って

いる大国もあるのだから、真の世界平和は、ほど遠い話だ。

\*

人類とは人格高潔な生物ではない。自由と平和に対し、過去多少の努力をした事実は認める。しかしいつの世にも強欲な、ならず者がいて、ユートピアの夢など、簡単に吹き飛ばされてきた。それがこの世の中である。

先進国の奢り。独善に充ち溢れた虚栄。今の全世界人口は、7万年前わずか数百名の脱アフリカ勇士の末裔である。少しばかり文明が先に進化しただけで、いい気になって、後発の仲間をないがしろにしてよい理屈はどこにもない。人類は折角脳味噌を膨らましたのだから、存分に智慧を働か

し、こんな狭い地球上で、隣人同士がいがみ合う「愚」は、早々に卒業すべきである。

以上、気の付くまま、先進国の横暴を列挙したが、他にも全地球問題として23,385発の核兵器、サイバー攻撃、格差問題、PM2.5、海水の酸性化、オゾン層破壊など幾多の問題を抱えている。子孫の安定した繁栄を望むなら、これらの問題は全世界が一丸となって早急に対応を講ずるべき課題である。現代人だけが地球の資源を浪費し、今の今を楽しめばそれで良いというものではない…という概念をしっかりと頭に叩き込み、叡智を働かし、万事控えめなスローライフに舵を切りかえるべきである。

## こぼればなし

### 「先制診断・先制治療」

国民医療費は2012年度35.1兆円。2025年度には54兆円に膨らむという。そこで政府は、医療費抑制策として、入院期間短縮など義務付けた。県別の一人当たり年間医療費ワースト1位は高知県の61.2万円。最も少いのは千葉県の39万円で、茨城県は上から4番目の40.3万円である。政府は今、重症化を防ぐ生活習慣病予防などの他「マイクロRNA」検出法で、13種類の癌を血液検査で早期発見できる技術開発を着々と進めている。

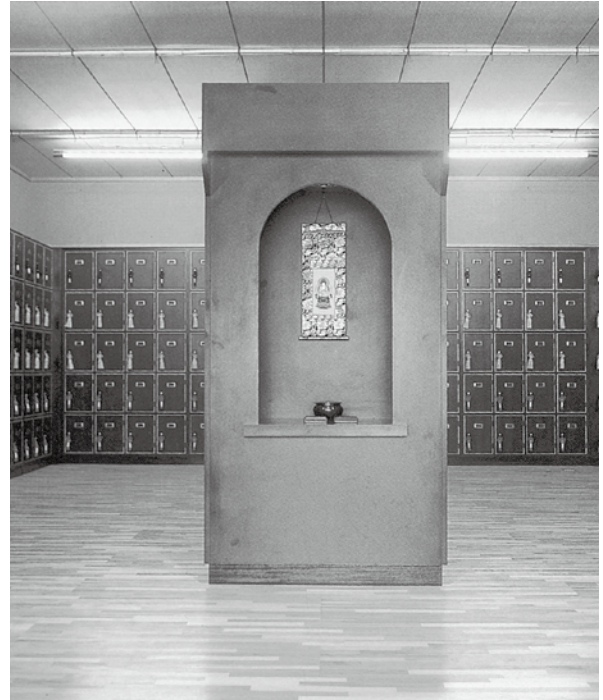
私はこの夏膵臓癌にやられ、入院・手術を受けた。膵臓癌の死亡率が高いのは、早期発見が大変難しく、気がついた時にはもう遅いからである。私は今から7年も前から、膵臓だけは特に注意し、CT・MRI検査を半年毎に14回も検査を受けてきた(先制診断)。肝・腎・膵臓などには誰でも多少の「嚢胞」があり、長い年月をかけ、時により癌化するもの。それが、今年膵臓頭部の嚢胞内粘液が固形化し、いずれ癌に発展する事、間違いなしという事で、「先制治療」に踏み切った。胃の幽門部と12指腸全摘、胆嚢全摘、膵臓頭部摘出、肝臓一部摘出。胃と空腸を繋ぎ、その空腸に主膵管と輸胆管を開口させる最難関の大手術であった。経過良好のせいもあったが、わずか術後3週間で沢山のドレイン(諸々の液を体外に出す管)を付けたまま退院という事になった。昔は考えられない事。ドレインは外来で、修復次第順次抜去する。筑波大消化器外科スタッフには本当に心のこもった治療に感謝します。そして私はファミリーに恵まれたので、自宅での患部処置は適正に行われたが、例えば認知症夫婦だったら到底不可能な話。いくら国の財政困窮といえども、早期退院強制など、人命に関わる事は、しっかりケアしなければ、真の福祉国家とは言えない。

(S・S)

# 永遠の安らぎの地

ペット霊園

# 慈苑



○ 笠間の豊かな自然に囲まれた静かな霊園

○ 営業時間

・ 平 日 午前 8 : 30 ~ 午後 5 : 00

・ 土 曜 午前 8 : 30 ~ 午後 4 : 00

・ 日曜・祭日 午前 8 : 30 ~ 午後 4 : 00

● お問い合わせ・お申し込みは下記へ……

公益社団法人 茨城県獣医師会

茨城県水戸市千波町舟付1234-20

TEL 029 (241) 6242(代)

有限会社ケイエス慈苑管理事務所

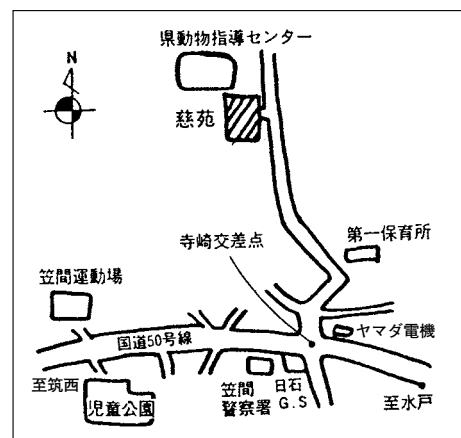
茨城県笠間市日沢46番地

TEL 0296 (72) 5834

FAX 0296 (72) 9009

○ 時間外連絡先 090-5807-6344

「慈苑」ご案内図



老犬ホーム

日本最大級の犬のテーマパーク

ひまわりはつくばわんわんランドが運営する  
**大規模老犬ホーム**です



老犬ホーム

ひまわり

～ひまわりの特徴～

**豊富な老犬介護経験  
超大型、要介護犬もOK**

つくばわんわんランド開業から18年。  
数千頭の犬のお世話を経て培った老犬  
介護のノウハウを活かし、愛情を持っ  
て大切にお世話いたします。

**犬のスペシャリスト達が  
全員でバックアップ**

日本最大級の犬のテーマパーク“つく  
ばわんわんランド”、茨城県最大の動  
物系認可校“つくば国際ペット専門学  
校”、ペット通信教育“日本ケンネル  
カレッジ”などスペシャリスト達が愛犬  
を大切にお預かりいたします。



### 「ひまわり」ご利用までの流れ

カウンセリング  
&  
施設見学

飼い主様に安心してご利用いただくために、対面にて  
愛犬のカウンセリングや施設見学及びサービス内容を  
説明させていただきます。まずはお電話にてご来店日時を  
ご相談ください。

※こちらにお越しに慣れない場合は、交通費実費にてお伺いも可能です

ご契約  
手続き

お申込みいただく場合は、ご契約手続きを行います。  
後日、契約書を送付いたしますので、ご記入・捺印を  
いただき返送をお願いいたします。同封の振込用紙に  
記載のご利用金額を指定日までにご入金ください。

※愛犬の状態によっては預かりをお断りさせていただく場合がございます

入所日  
決定

ご入金確認後、ご相談の上、入所日時を決定します。

ご入所

入所当日は、愛犬の愛用品をお持ちください。



### ひまわりスタッフの思い

現在ペットを取り巻く環境が変化し、  
愛犬の高齢化に悩んでおられる飼い主  
様が増えております。

私達はこれまで培った  
ノウハウで飼い主様  
のお役に立ちたいという  
思いから「老犬ホーム



ひまわり」をオープンしました。飼い  
主様と愛犬、どちらも穏やかに過ごせ  
る為のお手伝いが出来たらと願って  
います。懸命に生きようとする小さな命  
の為に来ること。それは「今を大切  
にお世話をする」私達が多くのお犬の  
お世話を通じ、辿り着いた答えです。



老犬ホーム

ひまわり

茨城県つくば市沼田579

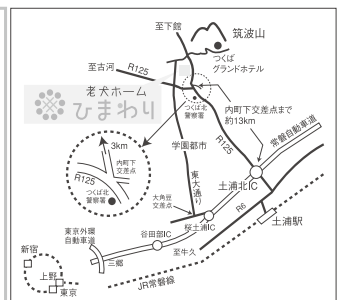
(つくばわんわんランド内)

動物取扱業登録茨城県第 634 号

動物取扱業の種類別 保管

**TEL 029-886-3601**

URL <http://www.rouken-kaigo.co.jp/> E-mail [info@rouken-kaigo.co.jp](mailto:info@rouken-kaigo.co.jp)



動物用医薬品 国産スポット剤

マイフリーガード® はフジタ製薬株式会社の登録商標です

ノミ・マダニ・シラミ・ハジラミの駆除

**マイフリーガード®α 犬用**

ノミ・マダニ・ハジラミの駆除

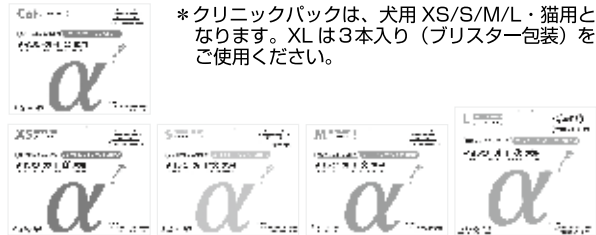
**マイフリーガード®α 猫用**

フィプロニル + (S) - メトプレン  
ノミの卵と幼虫にも効果を発揮

○ プリスター包装 と クリニックパック の 2つのラインナップ




🐾 プリスター包装 3本入



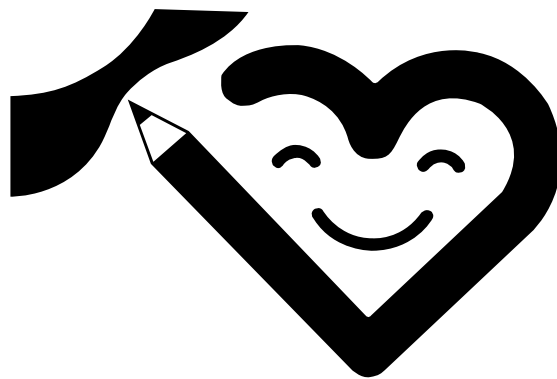
\* クリニックパックは、犬用XS/S/M/L・猫用となります。XLは3本入り（プリスター包装）をご使用ください。

🐾 クリニックパック（ピロー包装）  
24本入 ※Lのみ18本入

■販売  **共立製薬株式会社**  
東京都千代田区九段南1-5-10

■製造販売元  **フジタ製薬株式会社**  
東京都品川区上大崎2-13-2

未来へ大切なものを伝えたい！



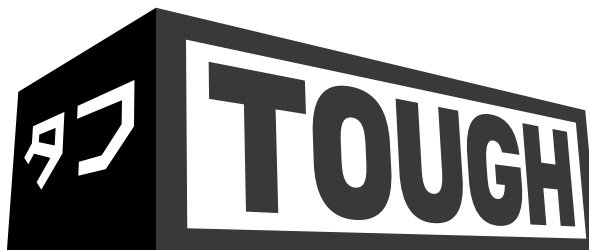
企画デザイン  
印刷全般

(有)クリエイティブサンエイ

〒311-4302 茨城県東茨城郡城里町那珂西1879-5  
TEL. 029-288-7778 FAX. 029-288-7801  
URL. <http://www.c-sanei.co.jp/>  
E-mail. [info@c-sanei.co.jp](mailto:info@c-sanei.co.jp)

立ちどまらない保険。

## MS&AD あいおいニッセイ同和損保



タフな安心を、あなたに。

あいおいニッセイ同和損保 株式会社  
茨城支店 水戸第二支社  
〒310-0803 茨城県水戸市城南3-11-14  
TEL: 029-224-2367

【取扱代理店】  
株式会社 あいおいNDIサポートBOX茨城支店  
〒310-0803 茨城県水戸市城南3-5-32  
TEL: 029-226-3638 FAX: 029-227-1448



生命をのせて回る地球に、潤い豊かな未来を届けたい。

# ASCO



## 株式会社 アスコ

<http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー  
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

### 本社

〒441-8021  
愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821  
FAX 0532-33-3611

### 営業所所在地

- ・中部支店  
豊橋、安城、名古屋、浜松、沼津、岐阜
- ・中国支店  
広島、福山、山口、岡山、米子
- ・関東支店  
児玉、大宮、前橋、松本、旭、茨城、栃木
- ・東北支店  
仙台、古川、福島
- ・関西支店  
大阪、京都

## 編集後記

平成 26 年度第 2 回目の茨獣会報（第 82 号）をお届けいたします。御投稿いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

「災害は忘れた頃にやってくる」と寺田寅彦の言葉にあるが、今年は広島豪雨の後の土石流、東京などでの Dengue 熱、御岳山噴火など息つく暇もなく災害が襲ってきた。今から 1145 年前の貞観（じょうがん）地震（869 年）の前後には富士山噴火（864）から仁和地震（887）まで 23 年間に 13 回も巨大地震・噴火が連発した（日本三代実録）。今回の御岳山噴火も去る 3.11 からわずか 3 年半なので、これも東日本大震災と一連の地殻変動とみなせば、多少の兆候もあったのだから、予測できたのではないかと悔やまれる。列島は 47 座も特に危険な活火山があるというから、いつどこで噴火・大地震があってもおかしくない。前例を忘れる事なく強く心に刻んで、災害には備えていきたいものである。

本会報は、会員相互の連携を強化し、社会に貢献する絆を築くため、会員各位の積極的なご投稿を頂き、一層盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。（菅原）

### 茨城県獣医師会会報編集委員

委員長	菅原茂美（勤務退職者支部）
副委員長	橋本邦夫（勤務退職者支部）
委員	田上宣文（担当理事）
	岡田康子（担当理事）
	山崎衛（担当理事）
	長谷川清（県北地区）
	久家美恵子（鹿行地区）
	稲葉豊範（県南地区）
	苦瀬秀雄（県西地区）
会報担当	比氣正雄（専務理事）

### 茨城県獣医師会会報

平成 26 年 11 月 30 日 発行

第 82 号

発行所 茨城県獣医師会  
〒310-0851 水戸市千波 1234-20  
TEL 029-241-6242 FAX 029-241-6249  
<http://www.ibajyuu.com>  
発行責任者 小林貞雄  
編集責任者 菅原茂美  
印刷所 (有)クリエイティブサンエイ





# ダイワハウスから 茨城県獣医師会 会員の皆様へ

平屋住宅から2階、3階建て、店舗併用や賃貸併用、  
医院併用住宅までお手伝いさせていただきます。

住まいの  
カタログ  
プレゼント



## 戸建住宅

お客様が住まいに託すイメージを正しく反映させたプランニングと入念な設計により、夢や希望をカタチに実現。

## 医院併用住宅

医院をご自宅に併設する形で、効率のよいライフスタイルが可能になります。また、土地の持つ資産価値をさらに活用することができます。

お気軽にご相談ください。

住宅の新築や建替え、リフォームの相談

土地活用や税務相談

土地探しから資金相談まで



## 賃貸併用住宅

賃貸併用住宅の場合、賃貸部からの家賃収入でローン返済負担の軽減が期待でき、完済後は建て替え資金や私的年金としても利用可能です。また、自宅部と賃貸部の独立性を高めプライバシーもきちんと維持。



## 集合住宅

比較的コンパクトな土地でも建設可能な「賃貸住宅」は、もっともポピュラーな土地活用方法のひとつ。お持ちの土地を更地しておくよりも、税務対策や収入面で長期的なメリットが望めます。



## 店舗併用賃貸マンション

市街地や大通りに面した立地に適した活用方法。1階などにテナントスペースを併設した賃貸マンションです。管理・運営・テナント募集まで大和ハウスグループがサポートいたします。



## 住まいづくりの参考になる カタログを差し上げます。

右記以外にも、お客様の住まいづくりのお手伝いになるカタログをご用意しております。お気軽にご連絡ください。

①



「ペット∞わたし」

②



「xevo+R 賃貸併用住宅」

③



「広さで差がつく 3階建てxevo03」

④



「相続・贈与の税金」

ダイワハウスに関してのお問い合わせ、またはカタログをご希望の方は、下記までご連絡をお願いいたします。



Daiwa House.  
大和ハウスグループ

## 大和ハウス工業株式会社 茨城支店

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1194-24 TEL.029-246-0112

建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-22)第5279号

宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(14)第245号

(公社)茨城県宅地建物取引業協会会員

(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟

www.daiwahouse.co.jp

お問い合わせは茨城県獣医師会担当まで

TEL029-246-0112

営業時間/AM10:00~PM6:00 定休日/火・水曜日

www.daiwahouse.co.jp/ ダイワハウス 検索

人間だって、  
動物じゃないか。



(人へのいたわりと、同じ気持ちで。)

違っているところよりも、似ているところが多い人間と動物。  
だから、人間へのいたわりと同じ気持ちで、動物の健康を見つめたい。

あなたと同じ情熱で、動物の健康を守る。

わたしたちは森久保薬品です。

**M** 森久保薬品株式会社